



本日は 第2948回 例会
プログラム

米山記念奨学会の現状と今後の活動
No.2770 10月15日(木)

次週以降の予定

10月22日(木)地区国際奉仕委員会の活動
10月29日(木)マチローカードのこれから
11月5日(木)ガバナー公式訪問

第2947回 例会報告

2015年10月8日(木)

会長挨拶



10月1日の例会終了後、車椅子乗馬用スロープをそらぶちキッズキャンプに届けに私と副会長、幹事、鷲尾そらぶち支援特別委員長、製作所であります上田組上田会員と共に参りました。実際に組み立て場所に馬はいなかったのですが、車椅子を動かしてスロープを上ってみました。充分緩やかな勾配と乗馬スペースが広いことに佐々木さんも感激しておりました。まだ報道記事にはなっていませんが、今度の土曜日には報道されると思います。

10月3日は、RI2510地区地区大会の会長・幹事会があり、RI会長代理歓迎晩餐会が行われました。

10月4日は本会議で、滝川は36名の登録、31~33名の参加で朝早くバスでの来場大変お疲れ様でした。手嶋龍一氏による記念講演の後、表彰が行われましたが、滝川RCからは13名の会員が表彰されました。中でもロータリー財団表彰のメジャードナーを神部会員が受賞されましたし、ガバナー特別表彰の個人表彰を三品会員が三品年度で5名の会員を増強し、その内3名を委員長として活躍されているということで受賞されました。特にそのお二人の会員に対して敬意を表して御祝い申し上げます。おめでとうございます。私は表彰式には立ち会えませんでした。平行プログラムとして、手嶋龍一氏を囲んでの2510地区で活躍している人、団体、会社のプレゼンテーションが行われ、これに参加しました。9者の会社、団体が参加し、私はそらぶちキッズキャンプの佐々木健一郎さんと共に出席しましたが、当別の元三菱商事出身の宮司町長まで来ていました。私たちの目論見は全国にPRして頂くことでしたが、説明途中でお叱りを受けました。アメリカのポール・ニューマン財団をモデルにしている全国からの寄付が元入金になることを佐々木さんが説明したら手嶋氏曰く、アメリカ人は寄付をすると税金が直接その分少なくなるから寄付をするのであって、アメリカ式に頼ってはいじり貧になるので収益事業やふるさと納税の景品としての迂回寄付を広めたほうが良いというので、佐々木さんがふるさと納税の使い途としての選択肢をパンフレットに載せてやっちはいるのですが、方法に問題があるので消極的に行っている、と言うとそんなの関係ないからどどんやんないというので、私がそらぶちキッズキャンプ

は、公益財団法人で直接寄付をすると特定公益増進法人等に対する寄付になるので、地方公共団体に対する寄付と比べ控除額に差が出てしまいますのでそういう事を佐々木さんが言っているのです。と弁護してしまったので余り印象が良いとは言えないと思います。と言いますか、沢山言いたいことはあったのですが、じつとこらえてひたすら宜しくお願いしますと佐々木さんと一緒に頭を下げてばかりいりましたが、ま、失敗だったかなと思います。以上で会長挨拶報告を終わります。本日も宜しくお願いいたします。

幹事報告



①留萌・深川・美唄RCより会報が届いております。またガバナー月信10月号も購読者の各ロッカーへ配布しました。ご一読ください。

②先週台風18号等大雨災害義 募金をさせていただきました。3万9,500円お預かりし、昨日地区の方へ送金致しましたので皆様へ報告させていただきます。ご協力ありがとうございました。

③来週の例会ですが、会場が2階の丹頂に変更となりますので、お知らせいたします。

委員会報告



親睦活動委員会 本間 保昭 委員長

10月15日(木)午後6時から木曜フォーラムを開催します。会場は「Room in ぴあす」会費は4,500円、講師は渡辺浩司幹事です。まだ出欠の返事をされていない会員はこの例会中に回答をしてください。

表彰伝達式

米山記念奨学会メジャードナー
神部 洋史 会員
永年皆出席 100% 25年
細田 光人 会員
永年皆出席 100% 15年
山根 英治 会員





先週のプログラム

◇広報委員会担当例会◇

－会員卓話－



広報委員会 奥山 かおる 委員長

今日は広報委員会の担当例会ということで、我が広報委員会の鈴木忠男副委員長に卓話をさせていただくことになっています。お題は糖尿病をめぐる最近の話ということで新しいお薬などについてもお話しいただけるとのことです。

「2型糖尿病をめぐる最近の話題」



鈴木 忠男 会員

「糖尿病」とは、「インスリン」というホルモンの量が不足したり、働きが悪くなることにより、血液中のブドウ糖(血糖)が多くなりすぎた状態(高血糖状態)が長く続く病気です。現在日本では40歳以上では10人に1人、50歳以上では10人に2人の人が糖尿病になっています。また全国では、糖尿病にかかっている患者さんは950万人以上いてその数はますます増加しています。

糖尿病の症状は、口渇・多飲多尿などと言われますが、実は自覚症状がないことが多く、住民健診、職場健診、人間ドックなどを積極的に受けていなければ、早期発見は難しいのです。そのため、実際に糖尿病にかかっているながら、5年も10年も気づかない人がたくさんいます。目が見えにくいということで眼科に受診したところ、糖尿病が見つかり、発見されたときには失明寸前だったという患者さんが時々います。そういう患者さんは、ほとんどが健康診断を受けたことがなく、糖尿病が見つからなかったのです。従って何も治療しておりませんので、発見されたときには既に糖尿病の合併症が進んでしまっているのです。

糖尿病は実にやっかいな病気です。がんのように近い将来に、命を脅かされるという緊張感はありませんが、薬を飲めばきれいさっぱり治るという病気でもありません。しかも放っておけば失明とか人工透析導入などの糖尿病特有の合併症の問題が誰にでもいずれば起こります。しかし、コントロールさえしっかりできていれば、健康な人とまったく変わらない生活ができる病気なのです。我が国では現在年間3,500人以上の糖尿病患者さんが糖尿病網膜症で失明し、年間1万7,000人以上が糖尿病腎症にて新規に人工透析を導入されており、この数は年々増加の一途を辿っています。

そこで糖尿病を克服するためには、肥満にならない健康的な食生活・運動・休養などよりよい生活習慣を身につけて普段から予防に心がけることが一番大切なのです。健康で明るく元気に生活し、早世(早死)の減少、痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間(健康寿命)を延伸するには、生活習慣病の原因となる栄養・食生活・身体活動・運動・休養・こころの健康づくりなどの改善、またタバコ・アルコール・歯の健康に注意し、糖尿病・循環器病・がんなどを予防することが一番大切です。

ニコニコBOX

神部 洋史会員

ロータリー財団と米山奨学会より、メジャーダーの表彰を受け。

三品 優次会員

地区大会でガバナー特別表彰を頂いて。

細田 光人会員

地区大会で永年皆出席100%25年の記念品を頂いて。さて、30周年はどうでしょうか？

山根 英治会員

地区大会で皆出席100%15年の表彰を頂いて。

佐藤 佳朗会員

10月2日スポーツ交流会無事終了してスポーツ振興会発展協力の程お願いします。

高山 訓正会員

鈴木英光会員と目が合っ。

熊谷美由紀会員

9月16日新入会員オリエンテーションで柳委員長・三品直前会長にご指導を頂き有難うございます。10月4日岩見沢の地区大会に初めて参加できて。

近藤 正孝会員

会長・幹事に手間をとらせ、すいません。

横山 和幸会員

結婚記念日、お祝いいいただき有難うございます。

川原 弘嗣会員

結婚記念日、お祝いいいただき有難うございます。

深澤 和範会員

結婚記念日、お祝いいいただき有難うございます。

鈴木 忠男会員

糖尿病についての、会員卓話を終えて。

奥山かおる会員

担当例会を終えて！

会長／宮崎 英彰
幹事／渡辺 浩司
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。